

I。日本の医療問題

3. 高齢化による医療費の圧迫

1. 2010年 国民医療費37, 4兆円 75歳以上12, 4兆円、 65歳以上20, 7兆円
高齢化率 1990年13% 2005年20. 5%世界一 2010年22, 7% (神奈川19, 8 %) 2013年27, 9%(?) 藤沢市21, 40%(2013年5月)

7. 後期高齢者医療制度

- 1973年福祉元年 老人医療費の無料化→病院のサロン化。 最終場所が自宅から病院へ(?)
- 1983年老人保健法 患者負担外来1ヶ月400円、入院2ヶ月に限り1日300円
公費3割、全保険者拠出7割
- 2002年 公費5割、拠出金5割 …調整型(現役世代と高齢者の区分なし)、 運営は市町村
- 2008年 後期高齢者医療制度導入…独立型 ネーミングが不人気
- 2013年(?) 財政運営を都道府県、リスク調整型、70~74歳の自己負担2割
医療費全体の3分の1を占める高齢者分の財源をどこから出すか?

11. スウェーデンの場合

- 1990年高齢化率17, 8% 2030年21, 0%
- 19世紀 姥捨ての崖 20世紀 老人ホーム(救貧施設の劣悪な環境)の増加
- 1970~80年高齢化率(16~18%) 治療型→予防型(介護、福祉に転換して医療費の急騰に歯止め)
- コミュン(市)は大きな自主財源を持ち、生活関連サービスを担当、モダン老人ホーム(トイレ、シャワー付き個室)の建設)

ペール・グンナル・エデバルク教授(Lund大学福祉学部長):

「介護で対応できる部分まで医療で肩代わりする医療主導型の高齢化対策は割高で、かつ本人の満足度も低い。これは過去スウェーデンが犯してきた誤りだ。日本も早急に福祉(介護)中心の予防型に転換しないと財政的に破綻するだろう。」

53. 日本の国民皆保険

- 1938年 国民健康保険誕生(日中戦争開始翌年)
- 1961年 国民皆保険制度(何らかの制度に加入義務付け)
- ・ 被用者の健康保険(協会けんぽ、船員保険、日雇健保、健保組合、共済組合、自衛官)
 - ・ 国民健康保険(市町村国保、国保組合)
 - ・ 後期高齢者医療
 - ・ 生活保護(医療扶助が半分を占める)

Ⅱ。高齢者医療&介護

高齢者が利用できる施設と病院

| | | |
|-----------|------------------------|---------------------|
| 一般病院 | 急性期の治療 | 3ヶ月の限度が多い |
| ターミナルケア | | |
| 緩和ケア病棟 | 施設数 257 (東京都20、神奈川県11) | 病床数5101 |
| 老人病院 | 慢性期の治療 | 入院期限、内容まちまち、終身入院も在り |
| 老人保健施設 | 介護・看護リハビリ | 3~6ヶ月程度がメド(通過施設) |
| 特別養護老人ホーム | 医学的治療なし、常時介護 | 入院が必要でない限り終身入居 |
| (グループホーム) | | 少人数 認知症患者に適 |
| 民間有料老人ホーム | | |
| 高齢者用住宅 | | |

岩波新書「日本の高齢者福祉」山井和則・斉藤弥生著より 1998年第15版

在宅福祉の三本柱

1. デイサービス
2. ショートステイ
3. ホームヘルプサービス
 - ・ 滞在型
 - ・ 巡回型
 - ・ ミックス(滞在+巡回)——24時間ホームヘルプ

日本の死亡者の死亡場所別構成割合: 年次推移
(厚生労働省人口動態統計から作成)

高齢者寝たきり・痴呆の状況 (1997年高齢者白書)

| | 寝たきり率 | 痴呆性老人出現率 |
|--------|--------|----------|
| 60~64歳 | 2, 6% | — |
| 65~69歳 | | 0, 7% |
| 70~74歳 | 11, 3% | 2, 2% |
| 75~79歳 | | 4, 1% |
| 80~84歳 | 51, 2% | 7, 7% |
| 85歳以上 | | 19, 3% |

